

私立大学戦略的研究基盤形成
支援事業「タンパク質の生成
と管理」セミナー



生命科学
セミナー

演題: Inside Out Mitochondrial Biology:
Role the F1-FoATPsynthase
"Endogenous Regulator" Atpif1

演者: Michelangelo Campanella
University of London

要旨: ミトコンドリア ATP 合成酵素は、虚血などの条件下では逆反応である ATP 加水分解を触媒する。これは無駄で有害であるので、阻害因子 IF1 によって阻止される。もし、IF1 が機能しなかったらどうなるか。ミトコンドリアの膜電位は低下し、アポトシスが進行する。がん細胞の増殖にとっても IF1 は重要な役割を果たしているらしい。IF1 を含めて ATP 合成酵素の制御について、現状の理解と進行中の研究について紹介する。

日時: 2013年11月20日(水)

午後4時～5時

場所: 15号館1階 15102セミナー室

世話人: 生命システム学科

吉田賢右 (075-705-2962)

共催: 京都産業大学総合生命科学部

私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「タンパク質の生成と管理」